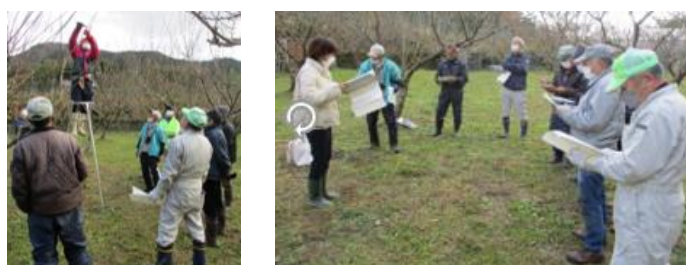


○12月～ 各地で秋季農林産物品評会を開催



京都市・乙訓地域の各地で秋季の農林産物品評会が開催され、普及センター職員等が審査を行いました。

○12月6日 大原地域で梅剪定の勉強会を開催



「大原菜果クラブ」を対象に、丹後農業研究所の研究員を招いて隔年結果防止の剪定方法の実演指導や黒星病やカイガラムシ等の病虫害防除の説明を行いました。

○12月20日 勸修寺樹園地組合ブドウ部会講習会を開催



シャインマスカットの未熟粒混入症やアライグマ等の獣害対策について情報提供・意見交換を行いました。

○1月24日 JA京都中央「京おくら」生産者技術交流大会の開催



生産者と関係機関が一堂に集まり、京おくら栽培技術の向上や安定生産、市場の動向、レシピ開発やPRなどについて情報交換を行いました。

○1月30日 深草支部キュウリ研修会の開催



アブラムシ媒介ウイルスによるキュウリの生育不良発生状況調査の結果を生物資源研究センターと共同で報告し、課題や対策について意見交換しました。

○2月3日 令和4年度乙訓農業大会を開催



都市近郊農業の振興のため、乙訓都市農業振興協議会の主催で開催し、式典で乙訓農林業功労者等の表彰や京都府府農山漁村伝承技能登録者を紹介した後、講演会を行いました。

○2月10日 京都乙訓地域農業士会女性部会が視察交流会を開催



大規模トマト農業法人（滋賀県）を訪問し、経営改善に資するGAPやSDGsの取組を視察

○2月16日 データを活用して施設イチゴ生産者の生育調査実施を支援



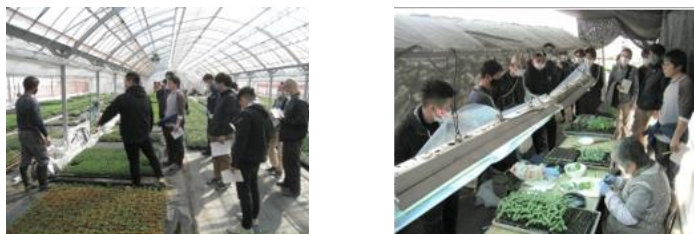
生産者自らが環境測定データを活かした栽培管理ができるようデータ収集や見方など助言

○2月28日 京都乙訓農業セミナーを開催



京の農業応援隊の活動として、農林水産部各課と連携して京都乙訓地域の農業者に参考となりそうな補助事業等の説明や普及計画活動の報告と併せて、個別相談を行いました。

○3月7日 京都市農業青年研究会勉強会を開催



会員の野菜育苗施設ほ場で、販売用野菜苗の接ぎ木技術や管理方法等を見学しました。

○3月20日 「大原やさい研究会」が勉強会を開催



有機農業等の実践のため、JA 京都中央と連携して緑肥の利用やぼかし肥料づくりの事例を紹介し、ぼかし肥料を作った経験のある会員を交えて、グループで意見交換しました。